

サイトスピン4









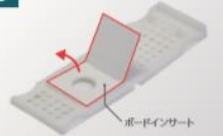

サイトスピン4を用いた簡単なセルブロック作製

サイトスピン4では、Cell Block Preparation System(サイトブロック)を使用することにより、セルボタンの作製を容易に行えます。微量サンプルや視認できない検体でも標本作製が可能です。

サイトブロックの特長

- ・微量サンプルや視認できないサンプルでもセルブロック作製が容易です。
- ・穿刺吸引材料、ティッシュフラグメント、セルボタンを迅速に調整します。
- ・免疫組織化学にも最適です。

サイトブロックを用いたセルブロック作製手順

<p>1</p>  <p>サンプルをサイトスピン コレクション液^{※1}やサイトリッチ レッド^{※2}などで固定する。</p>	<p>2</p>  <p>固定された細胞懸濁液をメディア スピン^{※3}コンパクト卓上遠心機などで遠心分離する。</p>	<p>3</p>  <p>検体2滴に対してサイトブロック 試薬2(青)を4滴加え攪拌する。</p>	<p>4</p>  <p>サイトクリップにサイトブロック カセットを置き、カードボード中央の穴にサイトブロック試薬1(透明)を3滴入れる。組み立てた物の上にサイトフューネルスを置く。</p>	<p>5</p>  <p>④で攪拌した溶液をピペットでサイトフューネルスへ移す。 ※シールドヘッドにサイトフューネルスをセットしてから溶液を入れる。</p>
<p>6</p>  <p>サイトスピン4を回転数:1,500rpm、遠心時間:10分、加速度:LOWでスタートさせる。</p>	<p>7</p>  <p>⑤の後、サイトブロックカセットを取り出し、サイトブロック試薬1(透明)を1滴カードボード中央の穴に滴下する。</p>	<p>8</p>  <p>パッキングペーパーを折り、カセットを閉じて包装装置に入れ、通常ルーチンプログラムで処理する。</p>	<p>9</p>  <p>包装終了後、サイトブロックカセットを開き、パッキングペーパーとボードインサートを取り除く。</p>	<p>10</p>  <p>完成したジェルボタンを包埋皿に置き、通常のパラフィンブロック作製方法でブロックを作製する。</p>

製品番号	品名	包装
7401150	サイトブロック セル ブロック システム	50/包
7401151	サイトブロック リージェント (A & B、各 11mL)	各 1 本
5701AP	10%中性緩衝ホルマリン 3.8L	4/包
6768001	サイトスピン コレクション液 4 L	1 本
6768315	サイトスピン コレクション液 500 mL	2/包
B9990800	サイトリッチ レッド 4 L	1 本
B9990801	サイトリッチ レッド 500 mL	2/包

202404